



# 「緊急集会：被災した自然史標本と 博物館の復旧・復興にむけて 学術コミュニティは何をすべきか？」

日時：2011年 6月6日（月） 13：30～17：10

場所：日本学術会議・講堂【申込不要、入場無料：どなたでもご参加いただけます】

## 第一部：いまを知る

1330-1335：開催あいさつ

西田治文（中央大学）

1335-1345：緊急集会の趣旨について

真鍋 真（国立科学博物館）

1345-1405：文化財レスキューについて

六川真五（東京文化財研究所）

1405-1425：岩手県の状況報告

大石雅之（岩手県立博物館）

1425-1445：宮城県の状況報告

佐々木理（東北大学総合学術博物館）

1445-1505：福島県の状況報告

竹谷陽二郎（福島県立博物館）

1505-1530：休憩



岩手県陸前高田「海と貝のミュージアム」のツチクジラ剥製

1530-1550：水族館の事例報告

岩田雅光（アクアマリンふくしま）

1550-1610：藻類標本8万点の損失事例報告

吉崎 誠（元東邦大学）

## 第二部：これからを考える

指定討論者

・佐久間大輔（大阪市立自然史博物館）

・岡本 真（saveMLAK）

・萬谷宏之（文部科学省生涯学習政策局社会教育課）

・栗原祐司（文化庁文化財部美術学芸課）

進行：西田治文・真鍋 真

1700-1710：結語：斎藤靖二

（神奈川県立生命の星・地球博物館）

東日本大震災による自然史標本及び収蔵施設の救済を支援し、将来にわたり標本と施設を災害から守るための対策を提言するために、意見交換を行うことを目的とした緊急集会です。

お問い合わせ先：

MAIL：naturalhistory.scj@gmail.com

http://twilog.org/NaturalHistoryJ



日本学術会議

（千代田線・乃木坂）

徒歩1分

http://www.scj.go.jp/